

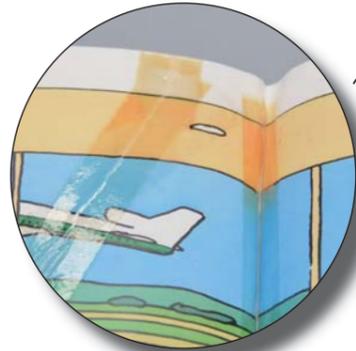
こういう状態の本を手にとると 悲しい気持ちになりませんか？

図書館にある本は、およそ64万8千冊。そのすべてが市民の皆さんの大切な資料です。大切に扱っていても、多くの人の手を経れば破損していく本もあります。しかし、近年、心ない方により汚されたり、破かれたり、折られたりした状態で返却される本が増えています。資料を汚損・破損した場合、基本的には弁償となりますが、修理できるものは図書館員が修復して、再び皆さんが手に取ることができるよう本棚に戻しています。

もしも、誤って本を汚したり破いたりしてしまった場合は、返却の際に図書館員へお知らせください。

これらの本は修理ができず、残念ながら処分されました

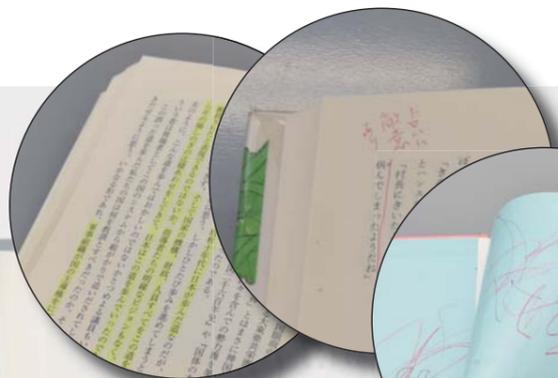
④ 蛍光ペンのラインが引かれたり、落書きされたひどい状態の本



破けた本にセロハンテープを使うと、張った部分に変色してしまいます。ご自分でテープを張らずに破けた部分も一緒にお持ちください

④ 破けた部分にセロハンテープを張って返却されたもの

④ ページごと切り取られたものです。これでは読めません



④ 油染みによって紙の色が変色してしまいます

④ 水に濡れてしまった紙は、乾かしても元には戻りません。インクの染みも同じです

④ ページの中の一部分を切り取られたもの。ここには何が書いてあったのでしょうか？

図書館の本は、次に借りる人のことを考え、汚れた手で扱ったり、飲食をしながら読んだりしないようお願いします。また、赤ちゃんやペットが噛んだり汚したりしないように保管してください。

問合せ中央図書館へ ☎2954-4646

※狭山市と株式会社西武ライオンズは連携協力に関する基本協定を締結しています



埼玉西武ライオンズ #55 秋山翔吾選手
祝 シーズン安打数 日本新記録達成 (216本)



埼玉西武ライオンズの秋山翔吾選手。自身もひとり親家庭で育ち、「努力し続ければ夢は叶う」という想いを伝えたいという意志のもと、ひとり親家庭への支援活動を行っています。子ども達がどのような境遇の中でも、夢を持ち未来へ向かって努力し続けていけるよう、秋山選手はプレーをとおして子ども達にメッセージを伝えてくれています。

© SEIBU Lions

みんなので守るっつ

子ども達の笑顔と未来

●子育ては「未来をつくる」

新しい命の誕生。それは、わが子を見守り育てていくことの始まりでもあります。子どもの成長は、新しいことの発見の連続。笑顔で一緒に過ごす時間はかけがえのないものです。

一方で、初めての育児には不安が付きもの。毎日必死で子育てをしているという方もいるのではなからうか。核家族化や少子化が進む中で、近くに相談相手もな

く、悩みや不安を抱えたまま、一人孤独に育児をする、いわゆる「孤育て」状態は、社会問題にもなっており、育児放棄(ネグレクト)などの児童虐待も深刻化していきばかりです。

お母さん、お父さんは「未来を生きて子ども達を育てている人」未来をつくる人。家事、育児、仕事などで忙しくても、お母さんやお父さん、周囲の大人が笑顔で子どもと関わることで、子ども達の安心や幸せに繋がっていきます。

●ひとりで悩んでいませんか？

虐待は一部の特別な人の問題ではありません。「虐待してしまう可能性は誰にでもあります。子育てに悩みや不安はありませんか。一人ひとり顔が違うように、子どもの成長や発達にも個人差があります。多くの親が、子どもと一緒にいるときにイライラしたり、不安を感じたりする経験をしています。一人で悩みを抱え込まず、相談してください。

【子育てに関する相談先】

▼総合子育て支援センター ☎2937-3626 ▼家庭児童相談室内線 15335

●「虐待かも」と思ったら189

「あの子は、もしかしたら虐待を受けているのかしら...」「近くで子育てに悩んでいる人がいる」など、気になることや心配していることがあったら児童相談所全国共通ダイヤル「189」番へご連絡ください。連絡は匿名で行うことも可能です。

【児童虐待に関する連絡先】

▼所沢児童相談所 ☎2992-152
▼休日夜間児童虐待通報ダイヤル ☎048-779-1154
▼狭山警察署 ☎2953-110 (緊急の場合は迷わず110番)
▼子ども課内線 15370
☎2955-2099

家庭児童相談員から



私は、日ごろ家庭児童相談員として、お母さん達からの相談を受けています。

「子育ては本当に大変」。私が子育てをしてきたころに思ったことです。今まで赤ちゃんの世話をしたことも、身近で見たことさえもなかったのに、母親になるといきなりすべてを任されてしまいます。周囲からの「母親が子どもの世話をするのは当然でしょ」という視線も感じました。

しかし、新米の母親にとっての子育ては、すべてが初めてのことで、分からないこと、思いどおりにならないことは、それでも家では赤ちゃん一人きりの時間が長く、近所に手伝ってくれる親も、愚痴を言い合える友だちもいないと、「孤立した子育て」を強いられ、不安やストレスに押しつぶされてしまいくらいになるのも当然です。

子育ては、すべてを一人で抱え込まないことが大切。不安や困ったことは誰かに相談してください。家庭児童相談室や総合子育て支援センターで困りごとをお聞きします。お父さん連れでも大丈夫です。周囲の方々には、頑張っているお母さん、お父さんと一緒に温かく見守ってほしいですね。

問合せ子ども課へ内線 15370